

BLSO (Basic Life Support in Obstetrics) は、『妊産褥婦・新生児対応を医療者のBasicに』を目標としたトレーニングプログラムです。日常では妊産婦・新生児に関わらないものの、突如急変場面に遭遇する可能性のある救急救命士、救急医、家庭医、看護師、学生の方々に受講をお勧めします。

- ・産科疾患の見落としを避ける。
- ・周産期施設以外での分娩を避ける
- ・避けられない事態に遭遇した際の対処を行うことができる

上記を目標とし、分娩介助・新生児蘇生・女性傷病者の評価を講義と実技のワークステーションを行い、実際の症例をもとに検討を行う1日コースです。

受講後、筆記試験とマネキンを用いた実技試験に合格すると米国家庭医療学会とALSO-Japanが認定する3年間有効の認定証が発行されます。

2017年以来となる7年ぶりの上五島コースです。分娩数の減少する中、周産期を取り巻く環境は厳しいものになってきています。『上五島のうまれる』をみんなで守っていきましょう。

日時：2024年7月6日（土）8:30～17:30予定

場所：長崎県上五島病院

定員：24名（公募は致しません）

参加費：10,000円

テキスト：

- ・日本版救急蘇生ガイドライン2020に基づく、新生児蘇生法テキスト第4版
（監修：細野 茂春 発行：メジカルビュー）
- ・病院前救護のための産科救急トレーニング - 妊娠女性・院外分娩に対する実践的な対処法
（監訳：新井 隆成 発行：中外医学社）

主催：長崎県上五島病院

国立病院機構長崎医療センター 総合母子周産期センター

共催：NPO 法人周産期医療支援機構（ALSO-Japan）

問い合わせ：長崎医療センター 産婦人科 山口純子

junjanjapan@icloud.com

